



来吧，走出家门 去水乡「清流泛舟」

「清流泛舟」是乘坐小木舟巡游以前的护城河（江戸時代の柳川城周囲）的柳川特有的传统游艺活动。整个游程中可以观赏两岸的樱花、菖蒲、红叶等四季的花草树木。穿过狭窄的水门，听船老大哼着当地的小曲。坐在船上不由地令人忘却时间的流逝。全程约70分钟，没有预约也可以乘船。如果事先预约的话，还可以在船上品尝蒸鳗鱼等当地风味小吃。

「川下り」とは、昔ながらの掘割（江戸時代の柳川城のまわり）を「どんこ舟」にゆられながら巡っていくという、柳川ならではの歴史ある舟遊びです。コース沿いは、桜や菖蒲、紅葉と四季折々に彩られ、狭い水門をくぐったり、船頭さんの歌に耳を傾けたり、そのゆったりとした水の流れに、思わず時間を忘れてしまうほど。コースは約70分、予約なしで乗船できます。また、事前の予約があれば、郷土料理の鯉の蒸籠蒸しなど舟の上でお食事も楽しめます。



1 从空中眺望清流泛舟 / 2 深受外国游客欢迎的清流泛舟活动 / 3 被称为「并仓」的味噌作坊建筑是清流泛舟途中的一个景点 / 4 冬天的被炉（炕上覆盖一条被子的日本传统的取暖形式）小木舟
1 空から見た川下りの風景（新柳川明証図会）撮影（橋本文夫） / 2 外国人の観光客にも人気の川下り。 / 3 「並倉」と呼ばれる、川下り名所の味噌蔵。 / 4 冬のこたつ舟。



立花家は、江戸時代元和6年（1620年）から明治4年（1871年）まで、この地を治めた大名家です。「御花」の歴史は、元文3年（1738年）、柳川藩五代藩主立花貞胤が柳川城の南西隅にあたる、御花宿と呼ばれていたこの地に別荘を築いたことに始まります。立花家史料館には、甲冑や日本の伝統美をたたく遊び道具などの貴重な所蔵品が公開され、日本でも数少ない、大名文化を今に伝える場所として多くの人びとが訪れます。「松涛園」は、明治43年（1910年）に十四代立花寛治伯爵によって築かれた庭園で、園内には約280本のクロマツ、磨石1500個、石灯笼14基があり、池庭に大小の岩島を配して大海をあらわした優美な名園として、昭和53年（1978年）には国の名勝に指定されています。



「御花」和「松涛园」 观赏感受日本风情的场所

立花家是从江户时代元和6年（1620年）开始到明治4年（1871年）为止，统治这块领地的大名家。「御花」是在元文3年（1738年）由柳川藩五代藩主立花貞胤在柳川城的西南角被称为御花园的地方建筑的一个别墅。在立花家史料馆中陈列展示着盔甲、精美的日本传统游戏道具等珍贵藏品，这里是日本国内为数不多的传承大名文化的场所，每年都有大批游客来此参观。「松涛园」是明治43年由立花家第十四代立花寛治伯爵建造的一个庭园。园内有280棵黑松，庭园山石1500个，石灯笼14座，园内池塘中配置大小岩石岛屿，如若大海中的自然风光，景致优美，为日本著名的庭园建筑，昭和53年（1978年）被指定为国家名胜。

5 松涛园全景 / 6 立花家珍贵的收藏品（立花家史料馆） / 7 初代柳川藩主立花宗茂肖像 / 8 明治43年（1910年）作为立花家的迎宾馆建造的西洋馆 / 9 立花忠茂使用的头盔 / 6 陈列着10400多年来代代相传的珍藏品的立花家史料馆

5 松涛园の全景 / 6 立花家の貴重な伝来品（立花家史料館） / 7 初代柳川藩主立花宗茂肖像 / 8 明治43年（1910年）に立花家の迎賓館として建てられた西洋館 / 9 立花忠茂着用の兜 / 10400年にかけて運継と受け継がれた伝来品が公開されている立花家史料館

春天，吊饰点缀了 整个柳川街头

日本传统的风俗习惯，女孩出生后为庆祝第一个女儿节的到来，都会摆设娃娃台等装饰以祈求孩子的健康成长。在柳川，除了娃娃台以外，还有吊挂各种色彩鲜艳的「吊饰」的习惯。为了让来访的人们也能参与其中，自然地形成了这个互访参观的「吊饰巡游」形式了。所有的吊饰中都包含着父母祈求自己的女儿能长得更漂亮、更坚强、更有教养的一片爱心。每年2月11日至4月3日，整个街头被吊饰装饰得绚丽多彩。

日本では、昔から女の子が生まれた最初のお祝い「初節句」に、子どもの無事な成長を願ってひな人形を飾る風習があります。柳川では、さらにそのひな壇のまわりに、色とりどりの「さげもん」を飾る慣習がありますが、それを訪れた人びとにも見て楽しんでもらうというのが「さげもんめぐり」の始まりです。女性としての美しさ、強さ、誇りなどを身に付けて欲しいという親心が、その飾りひとつひとつに込められています。毎年、2月11日-4月3日、または「さげもん」で彩られます。



浸泡温泉享乐其中

柳川的天然温泉，多为碳酸氢钠氯化物温泉，据说对神经痛、肌肉酸痛、恢复疲劳等都有一定的效果。柳川温泉「南風（HAENKAZE）」、「KANPO之宿柳川」等都可以入浴。在「构橘文人之汤」可以试试浸泡免费的「足汤」。

柳川には天然温泉が湧出し、泉質は、ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉で、神経痛、筋肉痛、疲労回復などに効果があります。

柳川旅游资讯网

收集有各种柳川旅游信息的「柳川旅游资讯网」，介绍所在地的冲之端一带，是一片绝妙街景。
<http://www.yanagawa-net.com/>
柳川市冲端町35番地
TEL (0944)74-0891
FAX (0944)72-9013

左图 / 柳川温泉「南風（HAENKAZE）」
右图 / 柳川旅游资讯网
左 / 柳川温泉 南風
右 / 柳川観光案内所



武士豪宅 「旧戸島家住宅」

在城内西边地区的童童町一角，坐落着旧柳川藩士作为隐居后的住宅建造的数寄屋风格的茅草屋顶宅。据说建于宽政年间（1789年至1800年），引入护城河河水的池塘庭园被指定为国家名胜庭园，整个空间幽雅别致。建筑内到处显示着江户时代的风高情趣，雕刻着李白的「月下独酌」的大门等，文人意趣浓厚。这里会不定期地举办茶会，在先人们曾坐过的地方大家相会一起喝上一杯抹茶互相切磋商交流，别有一番情趣。

城内地区の西の端、童童町の一隅に、旧柳川藩士の隠居後の住宅として建てられた数寄屋風の意匠を持つ茅葺屋根の建物で、寛政年間（1789年～1800年）築と伝えられています。掘割から水を引き入れた池を持つ国の名勝庭園とともに、趣のある空間を形成しています。内部には、江戸時代の流行が随所にいれられ、李白の漢詩「酒酌」が彫られた戸など、文人趣味の意匠が多くみられます。地元グループが抹茶の会もなしている期間があり、先人たちが語り合った座敷でいただく一服のお茶は、格別なものがあります。

日本人无比钟爱的 诗人北原白秋 他的诗歌的孕育地柳川

在日本提到北原白秋（1885年至1942年），没有人不知道他以及他的诗词。日本当代著名的诗人、童谣作家、歌人。在他激荡的一生中，作出了「构橘花」、「待君久不至」等至今仍为大家歌唱的经久不衰的童谣名作。北原白秋也是第一个将「鹤妈妈」翻译介绍到日本的作家。北原在他的母稿中写到「柳川，我诗歌的孕育地」。如今，通过保存运动北原白秋故居得以保存，纪念馆中陈列了许多北原的亲笔原稿以及北原的所有物等珍贵的展品，前来参观访问的游客络绎不绝。

北原白秋（1885年～1942年）は日本人であれば、誰もが知る詩人であり、童謡作家であり、歌人です。波乱に富んだ生涯でありながら、「からたちの花」、「待ちぼうけ」など、今でも歌い継がれている童謡など、世代を超えて愛される名作を数多く残し、日本で初めて「マザー・グース」を翻訳して紹介したことも知られています。遺稿の中で、「この私の母體柳川」と記したほど白秋の表現にとって故郷柳川の存在は大きなものでした。今は、保存運動によって奇跡的に守られた生家が残り、直筆の原稿や所持品など貴重な品が数多く展示された記念館とともに、多くの人が訪れる場所となっています。



左图 / 旧戸島家住宅
上 / 北原白秋纪念馆
左 / 旧戸島家住宅
上 / 北原白秋纪念馆